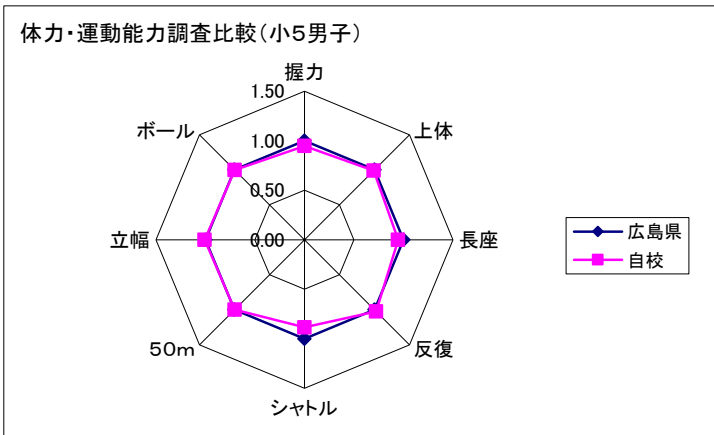
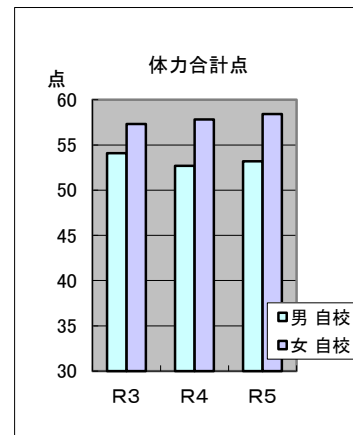
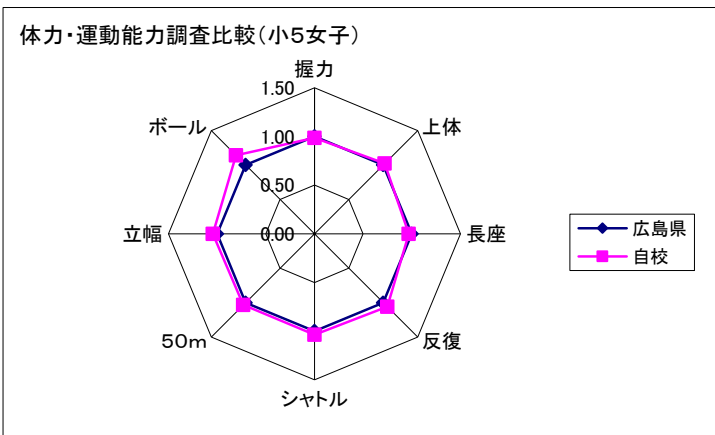


男子の体力合計点 学校 53.2 点 県平均 54.16 点



女子の体力合計点 学校 58.4 点 県平均 56.22 点



R5体力・運動能力調査の結果と分析

**結果と分析**

① 50m走(呉市の課題種目)  
 ・男子は、昨年度の自校の平均値と本年度の県平均を下回った。一方、女子は、昨年度の自校の平均値と本年度の全国平均値を上回った。  
 ・校舎建て替え工事を終え、昨年度よりも外遊びの奨励を行うことができた。しかし、休憩時間に外で遊ぶ児童が多く、大人数が入り乱れるため、子供たち同士が衝突を避けようとし、全速力で走ることができていない児童の姿も見られる。

② 握力(中学校区の課題種目)  
 ・男子女子ともに、昨年度の自校の平均値と本年度の県平均値を下回る結果となった。  
 ・体育の授業で、肋木やうんてい、ジャングルジムなどの遊具を活用するサーキットトレーニングを行っている。しかし、校舎建て替え工事を終えたことで、ボール遊びや鬼ごっこで遊ぶ児童が増え、遊具を活用した遊びをしている児童は少ない傾向にある。

③ 長座体前屈(自校の課題種目)  
 ・男子は、昨年度の本校の平均値を上回ったが、本年度の県平均を下回った。女子は、昨年度の本校の平均値も本年度の平均値も下回った。  
 ・体育科や日常生活に行う柔軟性を高める運動への取組が不十分であった。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 ( 50m走 )  具体的な数値目標 (男子0.1秒, 女子0.1秒)	具体的な取組内容 ・定期的にチャレンジマッチスタジアム(ダッシュリレー)に取り組み、各学年で更新回数を増やしていく。 ・体育科の学習で、長い距離や短い距離をダッシュする活動を取り入れるなど、思いっきり走る活動を取り入れる。
②中学校区の課題種目 ( 握力 )  具体的な数値目標 (男子2kg , 女子1kg)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・休憩時間における肋木やジャングルジム、うんていや登り棒などの遊具遊びを奨励する。 ・教室内にあるハンドグリップを活用し、強く握る経験を積ませる。また、ハンカチを強く絞る活動など、手軽に行える活動を朝の会や帰りの会で取り組む。 ・廊下に握力計を置くことで、現在の自分の握力や、自分自身の成長を感じやすくする。
③自校の課題種目 ( 長座体前屈 )  具体的な数値目標 (男子3cm, 女子2cm)	具体的な取組内容 ・体育科の授業の準備運動に、柔軟性を高める運動を積極的に取り入れる。 ・朝の会や帰りの会など、教室内でも手軽に行える柔軟体操を実施する。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)